

私とエコ 環境文明研究所 代表取締役所長 加藤 二郎



私は昭和四十年厚生省公害課に入省し、大気汚染問題を中心に公害対策の行政に加わった。以来、昭和四十六年に環境庁が新設される

吉が北野天満宮で催した「北野大茶会」の果した役割から、平成の世に生きる我々は社会へのメッセージとそこに移り、また若い時の三年間、外務省に外向し、環境外交というものも経験した。

厚生省の環境整備課長の職には昭和五十九年秋から一年半ほど在任し、廃棄物行政とともに衛生害虫の行政も担当した。昭和の末から、平成の初めにかけて、私は環境庁で地球温暖化対策の担当責任者を務めたが、その時、地球温暖化問題というのはそれ以前の環境衛生問題と異なり、「文明の病」と考えるようになった。

役所を離れて、この問題を自由な立場で徹底的に勉強してみたいと思ひ立ち、鈴木猛さんや古谷野加代さん、藤村コエさんと一緒に「環境文明研究所」をつくり、その二ヶ月後に、今のNPOを立ち上げた。

なせ役人を辞めたかとよく聞かれるが、役所にいると様々な制約があり、自由に発想出来たとしても、それを自由に発言したり行動したりすることが出来ない。

そこで発想の自由、発言の自由、行動の自由を求めて、NPOという立場を選んだ。

以来、十六年になるが、幸いにして、多くの人に支えられ、当初の思いは叶えられている。

今では、環境倫理 経済のあり方として、「環境文明論」を専門に活動中心に「環境文明論」を専門に活動している。

何かの機会にはご支援のほどをよろしくお願い致します。

平成大茶会 in 丸の内を終えて

茶道家 椿 邦司

二〇〇八年十一月九日、明日の地球を考えよう！丸の内での「わが」の企画、公害課に入省し、大気汚染問題を中心に公害対策の行政に加わった。以来、昭和四十六年に環境庁が新設される

三墓地所の協力での協力の三墓地所、丸ビル、オアジなど計八カ所の会場に環境をテーマに、それ

それが趣向を凝らしたお茶席を設え、六千名近い方々に一服のお茶(グリーン)を楽しんでいただきました。

さらに東京商工会議所のエコ検定事業と連携して、各茶席を廻りながら、地球環境の大切さを身近な問題としてとらえていただくよう、ラリ

以来、十六年になるが、幸いにして、多くの人に支えられ、当初の思いは叶えられている。

今では、環境倫理 経済のあり方として、「環境文明論」を専門に活動中心に「環境文明論」を専門に活動している。

何かの機会にはご支援のほどをよろしくお願い致します。

虫追い踊りと虫書

筑波大学名誉教授 草野 忠治

三十二年に斉藤実盛の小石像が発掘され、享保十七年七月吉日の銘があり、江戸時代のウツカの大発生があり、江戸時代に建立されたという。

さらに、ご逗留された所で「霊室のご開帳があり、その中に実盛の太刀、甲、馬具の展示と説明もあり、源平の戦で討死にした実盛の怨霊が

武士達に僧が語ったと推測される。それで、稲の登熟期に実盛の霊を供養し、災害を避けることを祈願する祭として、大鼓踊が行われたらしい。



昨年の秋に市来串木野市大里の虫追い踊を見学した。

味です。エネルギ一の消費と浪費で便利になりすぎた我々の生活は、いま直直さなければならぬ岐路にきております。

現代社会において我々は「伝統文化」との心を再認識し、茶道にも通ずる環境意識の高い人々(グリーンコンシューマー)的なライフスタイルが求められているのではないのでしょうか。

写真のように、矢旗へ実盛霊など

の依代を負い、太鼓を胸に抱え、鉢巻をした踊子はそれを叩き、浴衣あ

るいは袴を身につけて花笠を被り、平鉦を叩く踊子は歌と音に合せて、輪となって片足を交互に上下させて、水田地帯の数カ所で踊り、その中に実盛像の二カ所の跡地もあった。

今年の干支は牛である。そのため年賀状には牛をあしらったものが多くあつた。

その中の「ゴマダラカミキリの写真があり、天真があり、牛カミキリ」と牛とは言えない。

以下は私の勝手な推論である。天の牛だから飛翔してはいる姿と関係があるに違いない。私が見た飛んでいるカミキリシムシの様子を思い出しながら述べれば次のようになる。

羽と後羽はほぼ真横に広がっている。そして特徴的なのが触角である。二本の触角はまず斜めに高く持ち上げられ、ほぼ三分の一の辺りで今度

追い踊を見学した。

現代社会において我々は「伝統文化」との心を再認識し、茶道にも通ずる環境意識の高い人々(グリーンコンシューマー)的なライフスタイルが求められているのではないのでしょうか。



長崎大学名誉教授 和田 義人

天牛のことなど

昔の中国の人は、そこから天牛と名付けたのではないだろうか。

は斜め下方に折り曲がり、ゆるやかに三角形が形成される。それは二本の牛の角に似ていなくもない。飛んでいるカミキリシムシから頭に浮かぶのは、まさに牛の頭部の姿である。

虫には昔から日本古来の名前が付けられていた。そこに中国から漢字が渡来すると、日本での虫の名前に中国の文字が当てられるようになってしまった。

むしくいが

野中 健一著 虫紀書房 一六八〇円

昆虫食先進国ニッポン、虫は苦手という方にはちよつとハードな部分もあるが、美容のためなら蜂の子を食することをためらわない若い女性にこそ読んでいただきたい。エビ、カニ、ウニ、ホヤ、いずれも最初に口にした人がいたからこそ、今日のメニューがあるのです。嫌いだからイカモノ食いと決めつけるのは勝手だが、それでは人間の食に貢献する虫の立場が可哀相。一寸の虫にも五分の魂です。



以下は私の勝手な推論である。天の牛だから飛翔してはいる姿と関係があるに違いない。私が見た飛んでいるカミキリシムシの様子を思い出しながら述べれば次のようになる。

羽と後羽はほぼ真横に広がっている。そして特徴的なのが触角である。二本の触角はまず斜めに高く持ち上げられ、ほぼ三分の一の辺りで今度

追い踊を見学した。

現代社会において我々は「伝統文化」との心を再認識し、茶道にも通ずる環境意識の高い人々(グリーンコンシューマー)的なライフスタイルが求められているのではないのでしょうか。

現代社会において我々は「伝統文化」との心を再認識し、茶道にも通ずる環境意識の高い人々(グリーンコンシューマー)的なライフスタイルが求められているのではないのでしょうか。

公計楽職堂軽法行室祭道湿学再

ハガキまたはフアクシミニリで、答え、住所、氏名、当社との関係を明記の上、ご応募ください。

〒105-0014 東京都港区芝2の23の4

フアクシミニリ番号 03-3455-6558

〒105-0014 東京都港区芝2の23の4

フアクシミニリ番号 03-3455-6558

〒105-0014 東京都港区芝2の23の4

フアクシミニリ番号 03-3455-6558

〒105-0014 東京都港区芝2の23の4

戦前の昆虫学の教科書や図鑑では

虫の名前に必ずそのような漢字が付いていた。

な三角形が形成される。それは二本の牛の角に似ていなくもない。飛んでいるカミキリシムシから頭に浮かぶのは、まさに牛の頭部の姿である。

虫には昔から日本古来の名前が付けられていた。そこに中国から漢字が渡来すると、日本での虫の名前に中国の文字が当てられるようになってしまった。

以下は私の勝手な推論である。天の牛だから飛翔してはいる姿と関係があるに違いない。私が見た飛んでいるカミキリシムシの様子を思い出しながら述べれば次のようになる。

羽と後羽はほぼ真横に広がっている。そして特徴的なのが触角である。二本の触角はまず斜めに高く持ち上げられ、ほぼ三分の一の辺りで今度

追い踊を見学した。

現代社会において我々は「伝統文化」との心を再認識し、茶道にも通ずる環境意識の高い人々(グリーンコンシューマー)的なライフスタイルが求められているのではないのでしょうか。

現代社会において我々は「伝統文化」との心を再認識し、茶道にも通ずる環境意識の高い人々(グリーンコンシューマー)的なライフスタイルが求められているのではないのでしょうか。